

山梨県 I o T 推進ラボ設置要領第 3 条第 3 項に規定する  
ワーキンググループ等設置の考え方

平成 29 年 8 月 7 日に地方版 I o T 推進ラボとして認定された「実施計画書」において、I o T 等活用の具体例として、農業分野（アグリイノベーション L a b 構想）、観光分野（体験型観光における共体験システム）、ロボット関連（A I ロボット用アプリケーション開発）を記載した。

これに従い、当面、次の 3 グループを、山梨県 I o T 推進ラボのワーキンググループとして位置付ける。

アグリ L a b グループ  
共体験グループ  
ロボットアプリ開発グループ

各ワーキンググループの担当者は、構成員のうち、次の者としていたい。

一般社団法人 Mt.Fuji イノベーションエンジン 戸田達昭氏  
特定非営利活動法人 大学コンソーシアムやまなし 山梨英和大学 准教授 杉山歩氏  
一般社団法人 山梨県情報通信業協会 事務局長 廣瀬不二夫氏

ワーキンググループには、山梨県 I o T 推進ラボの構成員以外の参加も可能とする。

ワーキンググループの担当者は、山梨県 I o T 推進ラボの会議において、進捗状況等を報告する役割を担う。

製造業に係るワーキンググループは、今後設置を検討していく。

平成 29 年 11 ~ 12 月に開催する、県主催の「製造業向け I o T 講座」参加企業 20 社の中で、具体的に I o T 等を活用しようとする企業を中心に、グループ化を目指す。